

# 令和7年度学校関係者評価

慈恵福祉保育専門学校 介護福祉学科・保育学科

## 令和7年度学校関係者評価委員

### ●関連業界関係者

竹内巳智子 様： 介護福祉学科 第1回生卒業生

### ●関連業界関係者

石原美智子 様： 社会福祉法人 さくら福祉園 じけいの森 保育指導

### ●卒業生

浅田寛子 様： 社会福祉法人 碧晴会（実習生指導担当者）

### ●卒業生

岩下豊 様： 社会福祉法人 百陽会施設長

### ●近隣住民代表

天野敏子様： 岡崎市地域代表

## <教育理念・目的>

評価項目	平均
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育その他の教育指導等の特色が押さえられているか	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・非常勤講師等に周知されているか	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
<b>【現状の課題】</b>	
・教職員全員が共通理解の下に実践することが必要。	
<b>【今後の改善方策】</b>	
・本校が目指す教育方針の理解を求める知らせを、学生及び保護者の意識や価値観を想像しながらできるだけ丁寧に周知していく。	
<b>【関係者評価】</b>	
・学生の質は年々変わってきており、また留学生も入学しているが、理念・目的・育成人材像はかわらないことが大切である。留学生も個人差はあるが、大半の学生は理念など理解してくれているといえる。	

## <学校運営>

評価項目	平均
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
・ 学生の健康管理を行う組織体制を整備し運営しているか	4
<b>【現状の課題】</b>	
・ 組織図を作成し、運営しているが十分に周知されていない可能性がある。	
<b>【今後の改善方策】</b>	
・ 年度の初めに全員で組織図を確認し、役割を明確化する。	
<b>【関係者評価】</b>	
・ 教職員の人数からすると組織での役割は重複しており、複雑と言える。 役割をしっかりと把握し行っていく必要がある。	

## <教育活動>

評価項目	平均
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・ 人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針の周知を図っているか（学生・教職員・HPによる外部への周知等）	3
・ 関連分野の企業・関係施設等、業界団体、卒業生等の意見を聞く機会を設け、教育課程を編成しているか	4

・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等と連携して実践的な職業教育が実践されているか（実習事前・事後の打ち合わせを行う）	4
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・講義、演習などにおけるアクティブラーニングを展開しているか	4
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等と連携をして実習、実技、演習を行っているか（巡回指導教員と実習指導者が連携を図り各段階における「達成目標・課題」について確認している）	4
・職業教育において人材育成像が示す能力が身につくような取り組みを行っているか（カリキュラムに沿った授業・シラバスに沿った授業を実施しているかの調査を行っている）	3
・倫理的行動（身体拘束禁止・虐待防止・ネグレスト）について考える機会を導入しているか	4
・障害者・障害児に関する基本的な知識・技術を習得できるプログラムを導入しているか	4
・自立支援や予防を目的に潜在能力を引き出す技術が身につくプログラムを導入している	4
・専門分野における資格、要件を備えた教員を確保しているか	4
・教員の資質向上への取り組み、施設、保育園などと連携した研修会を行っているか	3
・教員の資質向上への取組として授業評価を行っている	4
・必要な組織体制を整備しているか	3
・成績会議、単位認定、進級・卒業判定の基準を明確に定めており、適正に運用しているか	4
・学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運用しているか	3
・卒業生への支援体制を整備し、適切に運営しているか	3
・学生相談に関する体制を整備し、適切に運営しているか	4
<p><b>【現状の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施教員による自己評価は行えるようになったが、他教員評価による研究授業などは十分に行えていない。</li> <li>・職員の能力開発のための研修機会・研修時間の確保。</li> </ul>	

### 【今後の改善方策】

- ・計画的に研究授業を取り入れていく。
- ・講義録内に授業評価を加え、分析することで次年度への取り組みに変化がみられているため、引き続き行っていくよう努める。
- ・教職員自らの専門分野等の知識・技術向上を図る。

### 【関係者評価】

- ・教員の担当科目が多く負担もあると思うが、研究授業は計画的に少しずつでも行っていけば、質の向上にもつながりよいといえる。

## <学生指導等>

評価項目	平均
・ 基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4
・ 学生、留学生に対する相談体制を整備し、適切に運営しているか	4
・ 学生・保護者からの相談体制が整備されているか	4

### 【現状の課題】

- ・留学生の健康管理を強化する必要がある。
- ・年金、健康保険料、市県民税などの滞納があるため、定期的に確認の必要がある。
- ・学生による保護者への伝達不足により、周知できていない出来事があったことから、保護者との連携をより強化する必要がある。

### 【今後の改善方策】

- ・寮の衛生面に関して、業者変更により虫駆除を行ったところよい状況となっている。(留学生部屋)
- ・滞納によるリスク(ビザ更新に影響する)など周知させ、支払い期日を守るよう指導する。
- ・家庭との連絡を一層密に行い、必要であれば家庭訪問を行う。

### 【関係者評価】

- ・学生からの要望・不満等を聞き、対応していることはよいといえる。
- ・施設でも寮の管理は大変難しい。何度も訪問し、確認をしていた。
- ・専門学校を卒業している学生は、即戦力となり活躍してくれておりありがたい。留学生で5年目の卒業生が令和8年の4月からサブリーダーになり大変頼もしい。

## <学習成果>

評価項目	平均
・ 学生が身に付けた学修成果は、目標とする水準にあるか	3
・ 目標達成が十分でない場合、教育活動などの改善を図っているか	4
・ 就職支援・相談体制を確立し、就職率向上に十分取り組んでいるか	4
・ 就職率は目標とする水準にあるか	4
・ 離職率や職場定着率を改善する取組をしているか	3
・ 国家試験受験対策の体制を確立し、合格率向上への取組を行っているか（介護福祉学科）	4
・ 国家試験の合格率は目標とする水準にあるか（介護福祉学科）	3
・ 退学率低減への取組を実施し、目標とする水準にあるか	4
<p><b>【現状の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習面において目標水準に達成していない学生が少数存在する（留学生を含む）ため、改善する。</li> <li>・ 介護・保育に関しては多くの求人があり、引く手あまたの状況であることより、学生に適した施設・園への就職へと結びつけることが必要である。</li> <li>・ 国家試験合格率に関して、グループレベルに合わせ担当教員が進捗状況を把握し、進めた。また、アルバイトを1月は実施せず国試学習に専念させ、過去問題に全て臨ませた。更に、模擬試験を曜日固定し、本人に習得状況を把握させたが、目標値には達成できなかった。</li> <li>・ 学生の家庭、人間関係事情等悩み事を早期に把握し、退学者を防ぐ。</li> </ul>	
<p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別対応として、分かりやすく砕いて説明し、理解できるように対応する。</li> <li>・ 卒業生の動向を施設・園等訪問の際、しっかりと把握する。退職している場合は、本人の希望により、関わりを継続しフォローアップする体制を整える。</li> <li>・ 今回の介護福祉士国家試験では、介護現場での実践に結び付けて考える問題が多かった。留学生においては、長文において意味を推察することが不足していたといえる。日本人は全員合格圏内である。 次年度に向けての対策として、音読・分析・書くを徹底し、行事を国家試験3ヶ月前には組み入れず国試対策授業に専念できるようにしていく。また、国家試験の傾向として、現場実践に関する問題が多く出題されてきているため、アルバイトを介護系に変更していく。</li> <li>・ 退学者は今年度若干名おり、進路変更が理由であった。入学時に、仕事内容のイメージが今以上に明確になるよう伝えていき、卒業に結び付けられるように努める。</li> </ul>	

**【関係者評価】**

- ・日本人でも言葉の言い回しなど難しいという状況である。2年間しっかり勉強しているため、知識の確認となるような問題の出題方法でよいのではないか。
- ・確かに、現場経験で受験している職員は、今年度の国家試験は「できた」と言っていた。専門学校で基礎知識はしっかり学んでいるため、なるべく出題傾向は変えず進めてもらえるとよい。

**<学生支援>**

評価項目	平均
・学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運用しているか	3
・卒業生への支援体制を整備し、適切に運営しているか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3

**【現状の課題】**

- ・学生の家庭状況・経済状況により就学が困難になった場合、可能な限りの支援策について教員全員が情報共有する。
- ・留学生の生活環境の把握。

**【今後の改善方策】**

- ・引き続き担任・副担任の面談及び、相談窓口を設け伝えやすい環境を作る。
- ・職員会議にて担任から早期に情報提供をし、職員全員で共有し対策に取り組む。
- ・留学生に承諾を得て、今後も定期的に自宅訪問をし、生活環境を把握するとともに、留学生による自治会を昨年度設立したため、留学生同士でも協力していく。

**【関係者評価】**

- ・留学生の対応、大変だとは思いますが、他国から親元を離れ一人できているため、困りごとなど言いやすい環境作りが必要であるといえる。

## <教育環境>

評価項目	平均
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・ 専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を図書室に配架し、学生に必要なに応じ閲覧できるような環境を提供しているか	3
・ 防災に対する体制は整備されているか	3
<p><b>【現状の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートフォンにおける語彙等の検索を実施し、図書室が十分活用されていない。</li> <li>・ 法人内において、幼稚園 保育園 デーサービス グループホーム等の実習先があるが、さらに踏み込んだ実習内容の整備が必要。</li> <li>・ 大規模災害への対策が十分検討されていない。</li> </ul>	
<p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力ある図書室となるよう、多くの文献、雑誌等を整備する。</li> <li>・ 消防署と連携した災害訓練を計画し実行する。</li> </ul>	
<p><b>【関係者評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生が年3回床を剥離剤を使用し剥離し、ワックスをかけているが、まだらになってしまっているため、今年度専門業者により剥離・ワックスを実施したところ、1回生の時のようにきれいになり、今後も何年かに1度専門業者が入るとよい。</li> <li>・ スマートフォンの普及により、書籍を読む学生は減少している。わざわざ図書室には行かないであろう。</li> </ul>	

## <入学者の募集、入学選考>

評価項目	平均
・ 入学者受け入れ方針を明確にしているか	4
・ 入学者募集活動入学者受け入れ方針に従って適正かつ効果的に行っているか	4
・ 入学選考方法を明確に定め、適正に運用しているか	4
・ 入学手続きは適正に行っている	4
<p><b>【現状の課題】</b>・ こども性暴力防止法に関して、入学時の書類に文言を加える必要がある。</p>	

**【今後の改善方策】**

- ・入学時、保育実習の書類に子ども性暴力防止法に関する書類をいれる。
- ・本校独自の魅力をPRする。

**【関係者評価】**

- ・現在メディアにて性暴力に関する事例がたくさん出ており、大変な状況といえる。
- ・近隣の日本語学校・専門学校の学生に、魅力を十分にSNSなどでアピールして入学してもらいたい。

**< 財 務 >**

評価項目	平均
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4
<b>【現状の課題】</b>	
・事務局、学監で支出等に関してダブルチェックをしているが、忙しい時期には長期分をまとめて実施している。	
<b>【今後の改善方策】</b>	
・忙しい時期であっても、なるべくこまめにダブルチェックをしていくよう努めていく。	
<b>【関係者評価】</b>	
・特になし	

**<コンプライアンス等>**

評価項目	平均
・法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
・学校評価の実施と結果の公開はしているか	4
・学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、結果を公開しているか	4

<p><b>【現状の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生間の SNS の利用により、学校が把握しきれないところで、個人情報(顔写真等)がネット上に流れてしまう事例等を防止する。</li> </ul>
<p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事の写真閲覧等に関しては、必ず本人の同意を得、拒否する場合には削除し確認後に閲覧へと導く。</li> <li>・ SNS 利用等、情報リテラシーの向上及び情報モラルについて、職員間内で確認し、担任より学生へ問題事例等上げ周知できるようにする。</li> </ul>
<p><b>【関係者評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報は施設や園でも十分注意している。</li> <li>・ 学校教育法の改正にて今後 5 年に 1 度第三者評価委員会を開催するためにもしっかり取り組んでいく必要がある。</li> </ul>

### <社会貢献・地域貢献>

評価項目	平均
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
<p><b>【現状の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育資源を活かした地域貢献の推進をする。</li> </ul>	
<p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災福祉講演会を公民館で実施したが、環境の整っている本校の実習室を使用し、次年度開催していく。</li> </ul>	
<p><b>【関係者評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 慈恵福祉が行っている地域との関りのあるペンギンクラブなど地域住民の方に浸透している。</li> <li>・ 今後、もっと地域行事も復活していくとよいといえる。</li> </ul>	

## V 総合的な評価結果

昨年度からの改善により、各取り組み状況については、「適切」「ほぼ適切」と評価できる。

さくら学園の教育活動の根幹である校訓「誠心<sup>まごころ</sup>」を全職員・全学生で大切にし、一人一人の学生に寄り添った、きめ細かく丁寧な指導により、心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材に成長し卒業している。関係施設・園からも「即戦力となり、必要な存在」と称賛されている。今後も感染対策を十分に行い、一人一人としっかり向き合い、学生に合ったきめ細かな教育に取り組んでいく。

全教職員で、全ての学生（留学生を含む）に誠実に対応し、学生自身が自ら考え行動できるよう教育環境を整え、評価結果を真摯に受け止め、時代のニーズに応える職業教育を継続していく。